

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 21.4.15 第 171 回国会第 10 号

4 月 15 日（水）第 10 回の委員会が開かれました。

## 1 農地法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 32 号）

- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・石破農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 小 野 次 郎君（自民）

- ・貸借により農業参入した一般企業等が農地に投資し付加価値が生じた場合の契約終了時の取扱いについてどのように考えるか。
- ・新たに農業参入した一般企業等への支援が必要ではないか。
- ・一定期間農業経営の実績を積んだ一般企業等には将来的に農地の所有権取得を認めるべきではないか。

### 大 串 博 志君（民主）

- ・現行農地法の基本理念である耕作者主義から利用を中心とする制度へ変更することにより地域社会等にどのような影響があるか。
- ・農地の権利取得に係る農業委員会の許可の判断基準を明確にする必要があるのではないか。
- ・農地の権利を取得する場合、農作業の委託はどの範囲まで認められるのか。

### 横 山 北 斗君（民主）

- ・経済財政諮問会議における農地制度改革の議論について農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・現在検討されている新しい食料・農業・農村基本計画において本案はどのように位置付けられるのか。
- ・一般企業等の農地貸借について市町村の関与をなくした理由は何か。

### 菅 野 哲 雄君（社民）

- ・農業経営基盤強化促進法に基づく遊休農地対策が機能していない理由についてどのように分析しているか。
- ・不在村農地所有者について今後どのような対策を講じるのか。
- ・特定法人貸付事業により農業参入した一般企業等の撤退後の農地については、どのように利用されているのか。